

*障害者福祉事業の推進に寄与された人

高橋 健治郎 氏 (都島区推薦・都島区支部)

尾崎 文子 氏 (大正区推薦・港育成園支部)

以上

受賞された皆様、おめでとうございます。

「障害を克服され、他の模範となる人」として、表彰受賞された中島千佳さんのお父様よりお礼の言葉を頂きました。

「この度は娘に過分なる表彰を頂戴し、厚くお礼申しあげます。

『全国障害者スポーツ大会ボウリング競技』では10大会で金メダルを獲得したこと、また、『全国障害者ボウリング大会』では12回の優勝を果たしたこと等をご評価いただき、表彰の栄誉を授けられましたのも、多くの皆様方のご支援とご指導のおかげと深く感謝しています。

ボウリングは中学3年生から17年間、水泳は25年間続けています。障がい者スポーツは障がいの軽い人の方が良い成績を取りますが、重度であっても指導方法を工夫して、練習と経験を積むことで大勢の中で闘って行くことができました。我が家では私のアドバイスやボウリングのマナーを、母親が絵に描いて伝えています。試合で緊張しないのは、あまり周りを気にしない自閉症の特性が功を奏したのかもしれませんが。

これからも“障がい者だから出来ない”と諦めてしまうのではなく、出来ることを探し努力することで“障がいがあっても出来るんだ”という喜びを本人や家族も感じていけたらと思います。」とおっしゃっていました。

【中島千佳さん(左)と小泉理事長(右)】



生野支援学校PTA進路講演会に招かれました

港育成園 管理者 藤原 勇治

10月22日金曜日の午後、生野支援学校のPTA進路講演会にお招きいただき、小泉理事長とお邪魔してきました。

現在、生野支援学校は、毎日スクールバス10台以上が稼働している、とてもたくさんの生徒が在籍する支援学校です。

小学部から高等部まであり、約350名の生徒が在籍しています。生徒の多くが大阪市内東部地域と、東大阪市から来られているそうです。

今回は、支援学校とPTAが共同して、1日を使って、支援学校卒業後の進路等について学びあう企画で、午前中はPTAの先輩をお呼びして、体験談などを聞かれたり、その他にも、いろいろと情報交換をされたそうです。

その後のプログラムとして、小泉理事長から、障がいがある子どもの親の立場からのお話を、私の方から「障害基礎年金の申請について」を説明させていただきました。

【小泉理事長の講演「親の立場から」】



進路講演会は、図書室を会場に使用して、ほぼ満席の40名程度のご参加をいただきました。皆さん「障害基礎年金」に強い関心を持っておられるようで、メモを取りながら真剣な表情で私の説明を聞いていただきました。

障害基礎年金の申請において、もっとも重要なポイントとして、診断書があげられます。診断書が、正しく、適切に申請者ご本人の状態を示すものになっていることと、記載の内容が年金の支給基準に該当していることが重要です。

適切な診断書を精神保健指定医に作成してもらうためには、ご家族が病歴・就労状況等申立書をていね